



「にらみあいの松」（院庄東公園）

「名古屋山三郎」を津山の観光振興に

津山新星会議 竹内邦彦

【質問】津山のブランドとして、戦国時代の武將「名古屋山三郎」にスポットをあてて、観光客の誘致に努めてはどうか。

【答弁】津山のオリジナリティを活かして、他都市との差別化を図るとい意味では、「名古屋山三郎」という人物は津山市のイメージアップと情報発信を図る有効な素材であると考えます。しかし、名古屋山三郎については、市民に十分知られていないのではないかと考え、まずは地域内での知名度を上げることが必要と考へる。観光という立場では、地域の資源を掘り起こし、工夫と磨きを加えて観光素材として発信する「着地型観光」の取り組みの中で、何が有効なのか研究してみたい。



1998年オープン当時のガラスハウス館内

ガラスハウス経営問題

新政クラブ 野村昌平

【質問】県から譲渡を受け、ガラスハウスが市単独運営が2年経過したが、利用者が予定をかなり下回り、連続赤字である。放置すべきではない。実態把握、認識と対応は。

【答弁】前年度は利用者計画8万人、実績7万6千人、会員数は月平均323人、赤字は3,871万円。

【市長】ガラスハウスは市民の憩いと交流、健康づくりの目的で多くの市民に利用していただいているが、2年連続して赤字決算となり誠に遺憾である。指定期間満了以前の取り消しは利用者にも大きな影響を与えるので、経営の安定に向け、より一層の指導に努め、指定管理者においてもさらなる利用促進策を講じ、一層の経費削減など最大限の経営努力に期待する。



JR津山駅前

津山駅周辺整備について

津山新星会議 近藤吉一郎

【質問】津山駅周辺整備計画が策定されたが、周辺部の国道53号の歩道整備はどのようなのか。にぎわいゾーンはどのような想定なのか。駅舎のバリアフリー対策はどのようなようになるのか。

【答弁】駅と中心市街地を安全、快適に行き来できるように国道53号の600m区間の南北両側に幅員3・5mの歩道が整備される。仮称駅前観光センターを核としたにぎわいゾーンは、城下町の風情薫るデザインを採用。今回の周辺整備により移転となる既存商店街から優先的に出店希望を募る考えで詳細を検討したい。駅舎のバリアフリーについては、北口広場の整備を完了した後、引き続き二期工事として計画している南北自由通路の整備と併せて改修が図られるようJRと協議を行っている。

農業振興

津山誠心会議 田口慎一郎

【質問】農産物直売所の整備は。

【答弁】場所は、国道53号沿いの杉宮地区を予定。今年度に用地取得、測量、基本設計、実施設計を行い、来年度中に整備を完了する。これができる津山市では公設民営で3番目の施設となり、市内全域での地産地消の推進や6次産業化を図る体制整備ができれば。

【質問】国が、地方公務員の給与を7・8%削減することを求めているが、津山市の試算では本年度の交付税はどうなる見通しか。

【答弁】国は、本年度の地方交付税総額か



ら給与関係経費8千5百億円を削減。本市への影響は3億円の減額がある一方、新たに地域の元気づくり事業費約7千万円を設けており、差し引き約2億3千万円の減額になる見込みである。